

## 6 - 2 熊野灘から三重県周辺の地震活動

### Seismic activity in and around the Kumanonada and Mie prefecture

気象庁地震予知情報課  
Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

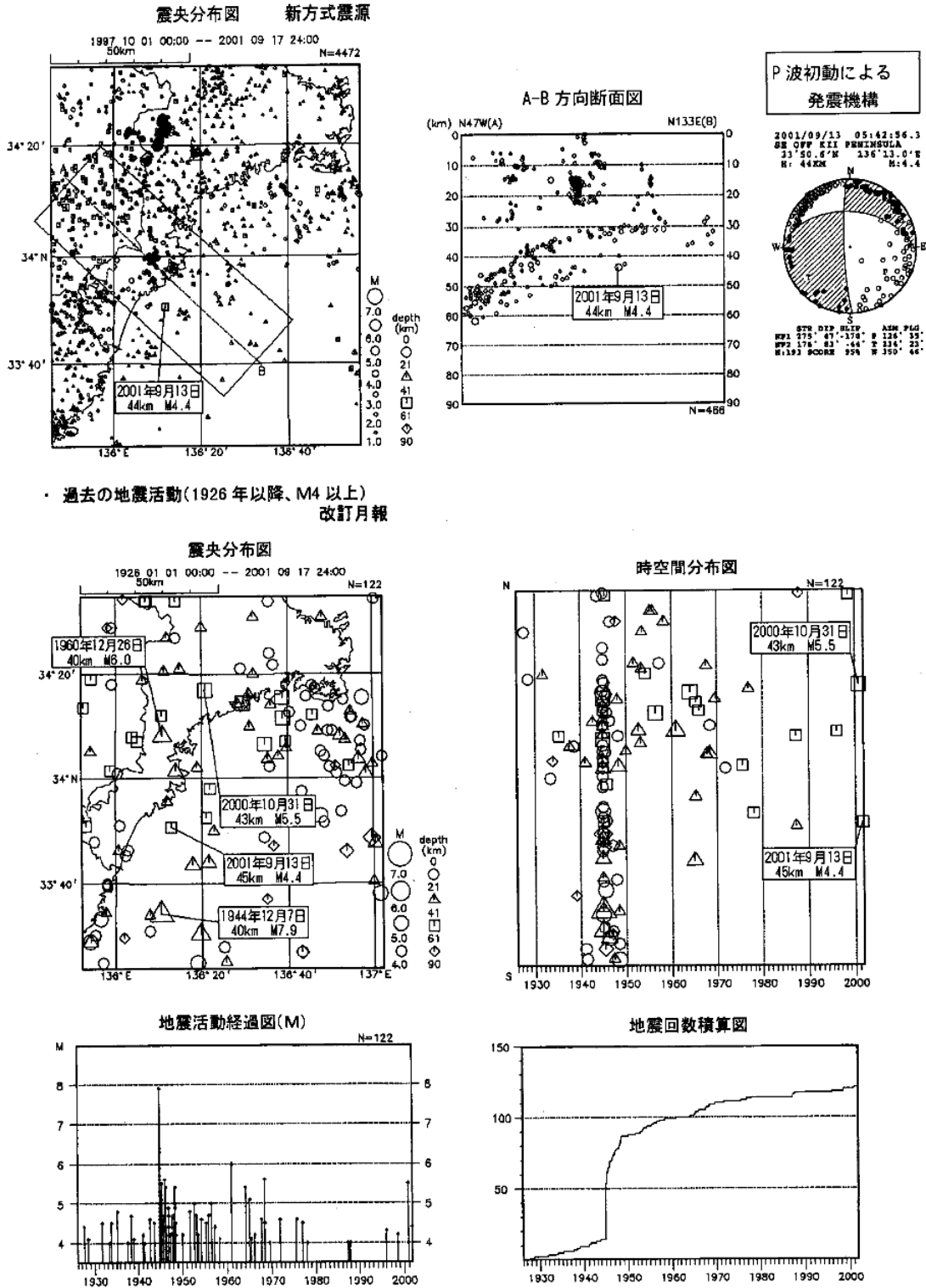
2001年9月13日に熊野灘でM4.4の地震が発生したが、この地震の余震は観測されなかった(第1図)。フィリピン海プレートが沈み込む方向の断面図からこの地震はフィリピン海スラブの下端付近で発生したことが判る。P波初動による発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ型だった。

熊野灘から三重県にかけての過去の地震活動(1926年以降、M4以上)を見ると、1944年東南海地震(M7.9)発生以降、熊野灘から三重県周辺ではしだいに地震活動が衰えた。第1図の地震活動経過図(M)から1944年東南海地震後しだいに地震の規模が小さくなったことが判る。1980年代から1990年代にかけM4以上の地震は10年に2~3個しか発生せず、かなり少ない状態だった。しかし、2000年10月31日に三重県中部でM5.5の地震<sup>1)</sup>、今回2001年9月13日に熊野灘でM4.4の地震がいずれもフィリピン海スラブ内で発生するなど、1980年代から1990年代にかけての静穏な期間と比べ最近やや地震活動が回復する兆しが見られる。

#### 参 考 文 献

- 1) 気象庁地震予知情報課：三重県中部の地震(2000年10月31日 M5.5)、連絡会報, 65(2001), 414-416.

熊野灘から三重県周辺の地震活動



第 1 図 熊野灘から三重県周辺の地震活動

Fig.1 Seismic activity in and around the Kumano Bay and Mie prefecture.